

ご存じですか？

「成果重視型特定保健指導」の効果的な進め方

— 特定保健指導の実施率向上等に向けて —

第4期特定保健指導に向けて改定の3本柱「アウトカム評価の導入」「見える化の推進」「ICT活用の推進」、特に第4期から特定保健指導はアウトカム評価重視の制度に移行します。これは、2cm・2kg減といった成果を出すことによって次年度の健診結果を改善し、結果として特定保健指導対象者(実施率の分母)を減らすことを目的としたものです。

成果を重視した特定保健指導<アウトカム評価>とは

腹囲2cm・体重2kg減を達成した場合には、保健指導の介入量を問わずに特定保健指導終了とする等、成果が出たことを評価する体系へと見直し。(アウトカム評価の導入)

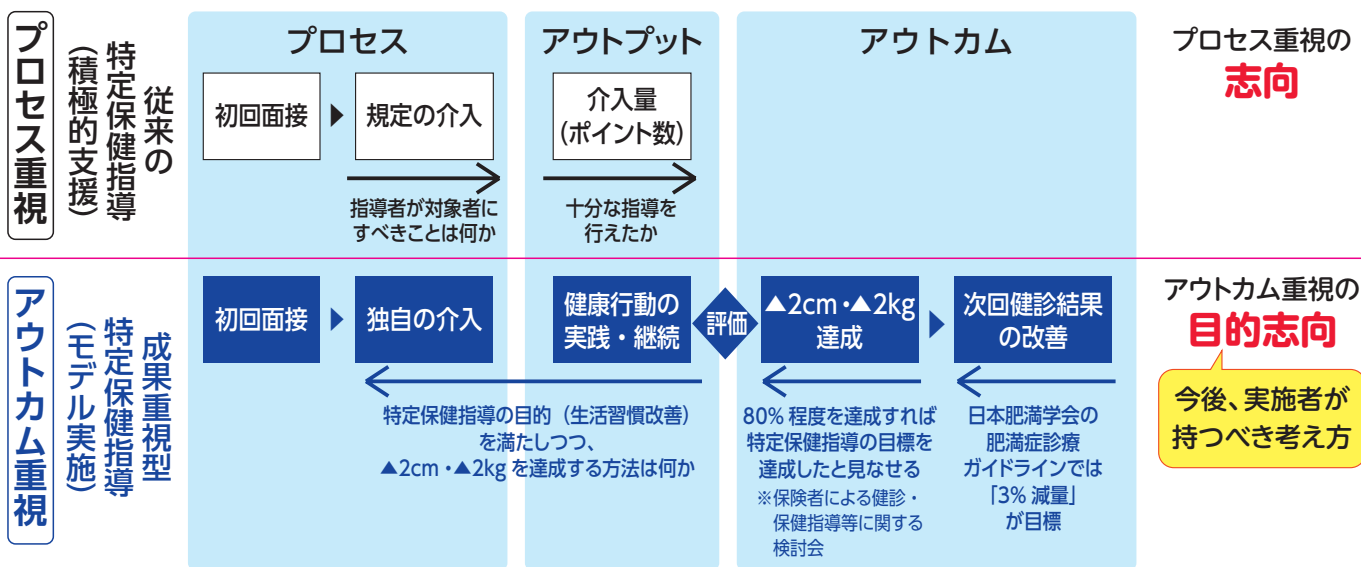
参考：厚生労働省資料(2022年10月)



従来の特定保健指導と成果重視型特定保健指導の違い

特定保健指導の例：「プロセス(介入内容)重視」と「アウトカム(成果)重視」

考え方の違い



成果重視型特定保健指導の重要ポイント

目的志向で後ろから考えること

資料：「成果重視型『保健事業』のあり方セミナー ～PFS採用事例のご紹介～」インサイト より改変

詳しくは中面へ



株式会社 社会保険出版社
https://www.shaho-net.co.jp

お問い合わせ 本社 TEL.03(3291)9841

大阪支局 TEL.06(6245)0806 九州支局 TEL.092(413)7407



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

第4期特定保健指導の主要達成目標は「腹囲2cm・体重2kgの減で180ポイント」に!

特定保健指導の評価に当たっては、対象者の改善状態や、行動変容を評価することが望ましいことから、成果を重視する「①アウトカム評価」の導入は、特定健診・特定保健指導の本来の目的に合致したものとと言えます。

なお、「①アウトカム評価」を原則としつつも、従来の「②プロセス評価(保健指導実施の介入量)」も併用して評価すべきであるとされています。

第4期の特定保健指導の評価体系のイメージは次の通りです。

■特定保健指導の評価体系のイメージ

①アウトカム評価 (初回面接から3カ月以上経過後の実績評価時に一度評価する)

主要達成目標

▲2cm・▲2kg※……………180p

※当該年の健診時の体重の値に、0.024を乗じた体重(kg)以上かつ同体重と同じ値の腹囲(cm)以上減少している

②プロセス評価

▲2cm,▲2kg未達成の場合、対象者の行動変容等を評価

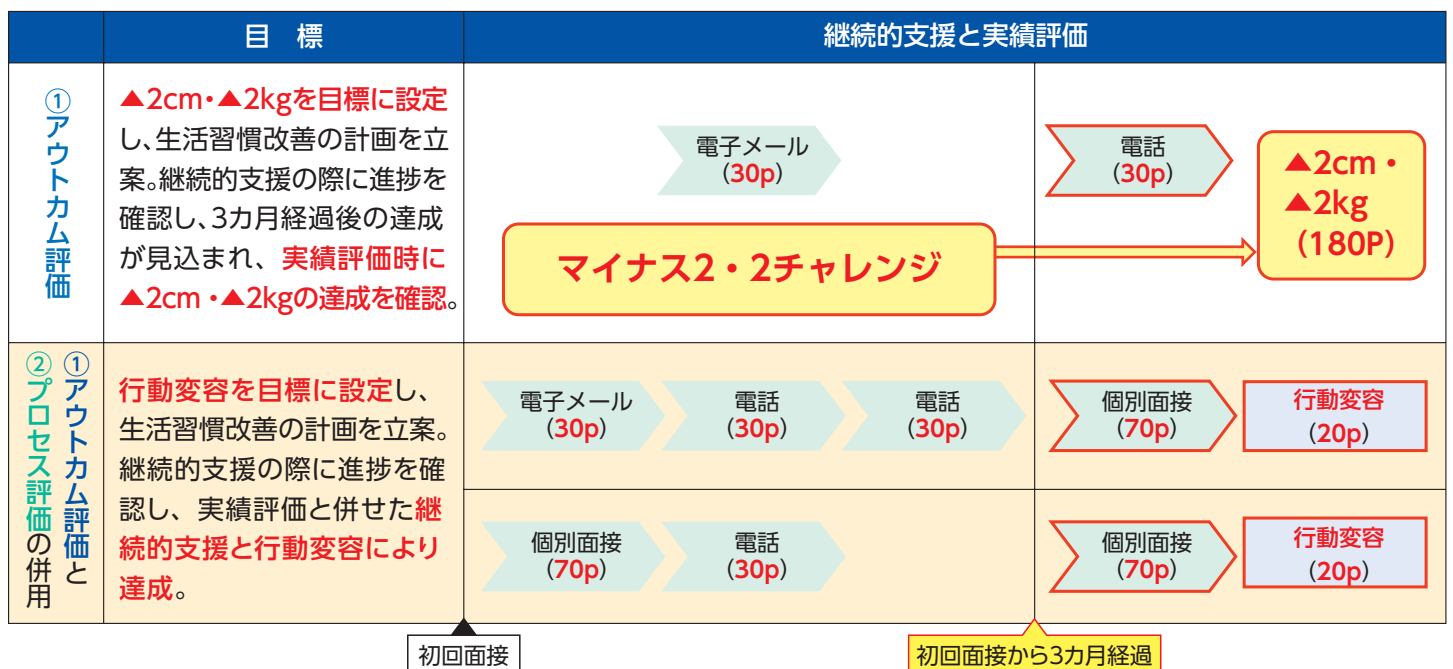
- ・ 1cm・1kg …………… 20p
- ・ 食習慣の改善 …………… 20p
- ・ 運動習慣の改善 …………… 20p
- ・ 喫煙習慣の改善(禁煙) …………… 30p
- ・ 休養習慣の改善 …………… 20p
- ・ その他の生活習慣の改善 …………… 20p

○継続的支援の介入方法 ()内は最低時間等

- ・ 個別(ICT含む) …………… 70p (10分)
- ・ グループ(ICT含む) …………… 70p (40分)
- ・ 電話 …………… 30p (5分)
- ・ 電子メール・チャット等 …………… 30p (1往復以上)
- 健診後早期の保健指導(分割実施含む)
- ・ 健診当日の初回面接 …………… 20p
- ・ 健診後1週間以内の初回面接 …… 10p

主要達成目標▲2cm,▲2kg未達成の場合、対象者の行動変容等のアウトカム評価とプロセス評価の合計が180P以上の支援を実施することで特定保健指導終了とする。

■新たな評価体系での達成プロセスの例



そこで
ご提案!

成果を上げやすく、コストの低減が期待できる

ICTを活用した「マイナス2・2チャレンジ[®]」

令和6年度から始まる第4期特定健診・特定保健指導に対応!

第3期に導入された「モデル実施」効果検証の結果、腹囲2cm・体重2kg減の達成者には、翌年の健診結果に改善傾向が認められたこと等を踏まえ、第4期特定健診・特定保健指導では「アウトカム評価」主要達成目標(180P)を、腹囲2cm・体重2kg減とすることになりました。3カ月で、腹囲2cm・体重2kgの減少を楽しく目指す「マイナス2・2チャレンジ[®]」は、アウトカム重視・ICT活用を推進する第4期の方針に合致した支援プログラムです。効果的な保健事業の実施に、「マイナス2・2チャレンジ[®]」の導入を、ぜひご検討ください。



特定保健指導対象者のメリット

- 実施期間中(3カ月)、対象者は **毎週、腹囲と体重**を計測し入力、送信するだけ。
ハードルが低いので、最後まで **脱落せずに継続**できます(達成率53.2% 令和3年度実績)。
- これまで受診していなかった **健康無関心層**にも、**興味をもって参加**していただけます。
- 毎年受けている対象者には、**新たなアプローチ**として **関心をよせてもらえる**プログラムです。



保険者様のメリット

- 初回面接から「マイナス2・2チャレンジ[®]」運営まで事務局によるオールインワン。
ご担当者の手間がほとんどかかりません。
- 厚生労働省に提出する **書類作成もサポート**いたします。
- 一人当たりの単価の低減により、**総コストの抑制が実現**します。

<従来の特定保健指導との差は?>

従来の特定保健指導(積極的支援)

1人当たり
約30,000~40,000円+税

ICTを活用した特定保健指導「マイナス2・2チャレンジ[®]」

1人当たり **19,800円+税**

目標:腹囲2cm減・体重2kg減

令和6年度事業を現在受付中です。詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

『マイナス2・2チャレンジ[®]』・電話による参加勧奨

オプション

利用率向上のために、**電話勧奨**を承ります!!

利用券・サービス案内
チラシ発送後のよく
あるパターン

担当者に

電話勧奨を
したいけれど
時間がない!

マンパワーが
足りない...

受けたくない
忘れていた

内容がよく
分からないし
面倒



サービス案内を発送後に、コールセンターにより電話勧奨を行うことで、様々な理由で返信のない対象者に対して、アプローチします。利用率の向上のために、導入をぜひご検討ください(別途料金)。

「成果を重視した保健事業」の効果的な進め方 特別 オンラインセミナーのご案内

令和6年
5月28日(火)
14:30~16:30

参加無料

第4期特定健診・特定保健指導計画ではアウトカム評価が一層重視され、厚生労働省ではPFS*を導入した事業を積極的に推進しています。

そこで、このセミナーでは、2cm・2kg減といった成果を出すことによって次年度の健診結果を改善し、結果として特定保健指導対象者(実施率の分母)を減らすことについて解説、また、ICTを活用した結果を出す特定保健指導事業をご提案いたします。

今回は二部構成とし、**第一部では東京大学大学院 医学系研究科 医療コミュニケーション学分野 准教授 奥原剛氏**にご登壇いただき、**行動変容をうながすために「何を」「どのように」伝えるか「行動変容のためのヘルスコミュニケーション 人を動かす10原則」**について、講演していただきます。

*成果連動型民間委託契約方式 (Pay For Success)

特別オンラインセミナーの概要

第一部 「行動変容のためのヘルスコミュニケーション 人を動かす10原則」

講師 東京大学大学院 医学系研究科 医療コミュニケーション学分野 准教授 奥原 剛氏

第二部

- ① 「成果を重視した保健事業」の効果的な進め方
- ② 第4期特定保健指導の見直しの概要について
- ③ 第4期対応 特定保健指導 Webでかんたん『マイナス2・2チャレンジ®』のご紹介
- ④ 特定保健指導利用者増へ向けた『電話による利用勧奨』の提案



奥原 剛氏

開催日程 令和6年5月28日(火)〈申込締切5月22日(水)〉

時間 14:30~16:30 定員 100名(申込先着順)

参加方法 ZOOMウェビナー 主催 (株)社会保険出版社・(株)インサイト

※『マイナス2・2チャレンジ®』は(株)インサイトの登録商標です。

お申込み

右記二次元コードからWebにアクセスの上、お申し込みください。追って弊社からご連絡いたします。



定期開催

無料オンラインセミナーのご案内

ICTを活用した特定保健指導『マイナス2・2チャレンジ®』を検討されている担当者様に向けて、内容についての疑問質問にお答えするセミナーを、定期的に開催しております。

第4期特定健診・特定保健指導の現状について知りたい、『マイナス2・2チャレンジ®』に興味がある等、関心がありましたら、お気軽にお問い合わせください。オンラインセミナー参加についての詳細をご案内いたします。

まずはお気軽にお問い合わせください！

資料をお届けするなど、幅広く対応いたします。



本社

☎ 03-3291-9841

大阪支局

☎ 06-6245-0806

九州支局

☎ 092-413-7407



(B38071)



株式会社 社会保険出版社

https://www.shaho-net.co.jp 社会保険出版社 検索

本社 東京都千代田区神田猿樂町1-5-18 千代田ビル 〒101-0064
Tel.03-3291-9841(代) Fax.03-3291-9847
大阪支局 大阪市中央区博多町4-7-5 本町TSビル 〒541-0059
Tel.06-6245-0806 Fax.06-6245-0805
九州支局 福岡市博多区博多駅前3-27-24 博多タナカビル 〒812-0011
Tel.092-413-7407 Fax.092-413-7417



「プライバシーポリシー(個人情報保護方針)」および「個人情報の利用目的」につきましては、弊社ホームページをご参照ください。

10190884(09)